

平成18年 9月 6日

## 「ホース全長耐圧試験要領」について

日本消防ホース工業会  
技術委員会

日本消防ホース工業会では、先般全国消防本部に対しアンケート調査を実施いたしました（集計結果「月刊消防」9月号掲載）。その結果、調査項目「性能管理」のなかで、回答をいただいた消防本部の63%以上が、「耐圧試験方法のマニュアル化」を“必要”とされていることがわかりました。それを受け消防ホース工業会では、各関係機関の協力を頂き「ホース全長耐圧試験要領」を作成しました。参考にして頂き、消防用ホースのメンテに役立てて頂ければ幸いです。

### <耐圧試験要領>

1. 耐圧試験をするホースの片側をポンプに接続し、もう一方にシャットノズルを接続してください。

ホースは直線状に伸展してください。多数本を同時に耐圧試験する場合や直線状に進展するスペースがない場合等については、当工業会に相談ください。

金具は確実に接続し、接続出来たことを耐圧前に確認してください。

2. ポンプのバルブを開け、徐々に通水し、ノズルからエアーを抜いてください。
3. ノズルをシャットし、徐々に加圧し、ホースの使用圧で試験をしてください。なお、加圧による蛇行を修正する場合、角が立った状態で地面と引きずらないでください。

### <安全に試験をして頂くための注意事項>

1. ホースと金具の固定

ホース及び金具をロープ等で柱等の動かないものに充分固定してから、耐圧試験を行ってください。全長試験の場合、ホースに噴水や破断が生じた場合、水が飛び散りホースが暴れます。金具が抜けると、金具が銃弾のように飛びますので飛ばない措置が必要です。

2. ホース内のエアー抜き

ホースを加圧する場合、ホース内のエアーをしっかりと抜いてください。ホース内にエアーが残っていると、圧縮効果で破壊したときのエネルギーが高まり危険です。

3. 確認の方法

耐圧は使用圧での試験をおすすめします。耐圧試験時は危険ですので、ホースや金具に出来る限り近づかないでください。漏水の有無等の確認は、加圧後に0.1~0.2MPa迄圧力を下げてから行ってください。

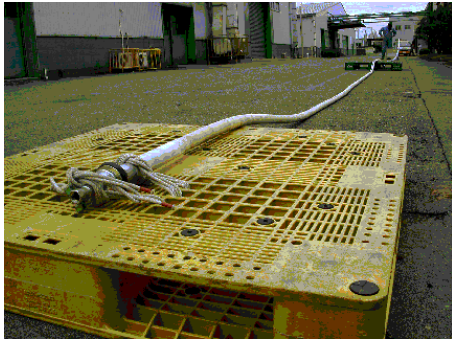
### ホースの固定方法 例1

両端をしっかり固定したロープに、ホースを、細紐あるいは漏水バンド等で固定する。



### ホースの固定方法 例2

金具部分とホースを重量物にロープで固定する。



### 多数本同時加圧 例

